

賛助会員紹介

社会福祉協議会は、法的には社会福祉法で規定している民間の団体です。

活動資金は、会費によりまかなわれ、全住民からの一般会費と社協活動に賛同いただいております個人や企業からの賛助会費があります。

賛助会費をいただいております個人や企業を賛助会員と呼んでおり、今年も草津市社会福祉協議会賛助会員の募集をさせていただきます。

山田学区では、二八社名の皆様から協力をいただきました。この会費は草津市社会福祉協議会の活動に有効に活用させていただきます。

- （株）アヤシロ
- 島根中井工業(株)
- （有）横江製作所
- 相撲ちゃんこ 大岳
- ナカインテック
- （敬称略・順不同）

- （株）真製作所
- 藤田工務店(株)
- 福盛教材
- 浜口商店
- オートカム
- ワークパートナー
- きんこう 北山田
- 中野製菓製造(株)
- 園田瓦店
- （株）泉エンジニアリング
- （有）馬場自動車
- （有）馬場工務店
- 堀井歯科医院
- （株）アノオーミ
- 膳所木材工業(株)
- キャンノンマシナリー(株)
- 山一産業(株)
- （有）久保水道
- 西本電気工事(株)
- （有）馬場建設
- 平井自動車工業(株)
- 佐山水道工業(株)
- 岡田茂吉研究所
- 木川富農組合
- 組合長 古川孝夫
- 特別養護老人ホーム えんゆの郷

山田学区
社協だより
第77号
発行 山田学区社会福祉協議会

民児協と福祉委員との懇談会

一月二日、民生委員児童委員協議会と山田学区社会福祉協議会福祉委員との懇談会を開催いたしました。

この懇談会は、令和の世になつてから始めた新しい活動です。当学区社会福祉協議会の会則には、副会長の一人は、民生委員児童委員協議会からの推薦人を当てることになっており、社協と民児協とはそのつながりの大切さを以前から示しています。

特にこの数年、安心のバトン、医療福祉を考える会議の運営、キッチンやまだっ子の実施など、両者連携しての重要な活動が増えてきており、民児協と福祉委員の懇談はまさに当を得たものと思っております。



懇談会ですから、みんなが互いに顔の見える座席配置が好ましいですが、コロナの中、ソーシャルディスタンスの関係から学校の教室のような机の配置でお願いいたしました。会議では、最初に、市健康福祉政策課に講演をお願いいたしました。この概要は次のとおりです。

山田学区社協ホームページ

今年度の五月から、山田学区社会福祉協議会のホームページを開設しています。URLは <http://www.syakyou.nd.com> 左の図のように緑色基調の画面が開きます。今後ともこのホームページで、山田学区社会福祉協議会のタイムリーな情報を発信してまいります。



ホームページはパソコンのみならず、タブレット、スマホにも対応しています。機器のディスプレイの大きさによって、表示される画面の構成や順番が変わります。皆様の御意見などお聞かせください。より良いホームページになるよう努めてまいります。

ようこそ 山田学区社会福祉協議会のホームページへ

山田学区社会福祉協議会の活動の一部です。

- 医療福祉を考える会
- わいわいやまだっ子
- 高齢者ふれあいサロン
- 高齢者安心が「ホ」ア
- 民児協・福祉委員と
- 高齢者バス旅行
- 住民福祉活動計画
- ふれあいカフェ

新着情報・お知らせ

- 2021/02/03 【活動報告】安心のバトンを製作しました。 NEW
- 2021/01/22 【活動報告】民生委員児童委員協議会と社協福祉委員との懇談会を実施しました。 NEW

第3次住民福祉活動計画

このたび、山田学区社会福祉協議会では第3次山田学区住民福祉活動計画を定めました。この計画は、第1次、第2次住民福祉活動計画に引き継ぐものです。この計画は、社会福祉法107条に基づき草津市地域福祉計画を草津市社協の地域福祉活動計画を受けて、山田学区の山田学区住民福祉活動計画として定めるものです。

山田学区社会福祉協議会では、高齢者・障害者・子育て等の分野を超えて、つながり、地域で支え合い助け合う、我がこと・丸ごと山田学区ならではの「地域共生社会」を目指します。山田学区の誰もが安心して暮らせるまちを健康で幸せになるまちを目指した第3次山田学区住民福祉活動計画としました。その中で、第3次計画では、その活動の目標や活動の成果を主眼として活動計画の通り、構築しました。(第2次計画までは活動の対象者を中心としていました)

編集後記

一年間は長い期間ですが、過ぎ去って見るとあっという間でした。

この広報紙も、活動の結果報告ではなく、社協につながるような考えで、どういった活動を進めたいとしているかを伝える、みんなと語り合える話題を提供できる紙面でありたいと考えて来ました。そのため、この広報紙の内側2頁を使って、医療福祉を考える会議の内容を中心にお伝えすることをしました。また、今回は、第3次山田学区住民福祉活動計画としました。でも、十分に前記の役割を果たしているとは言えないところです。



1次、2次計画の表紙

第3次 山田学区住民福祉活動計画

ひろがれ やまだの和・環・話 ～ひとと人のつながりを求めて～

活動の種類・項目		活動の例	活動の目標、活動プログラム	実施の年度	
福祉の土壌づくり	地域福祉への関心の醸成	地域の福祉意識の向上	福祉講座、福祉懇談会、人権研修、障害や認知症への理解	R3→R7	
		健康維持・増進	介護予防、百歳体操、ウォーキング	R3→R7	
地域の支え合い	活動基盤の強化	関連団体との連携・支援	関連団体の連携・協力 団体活動に対する助成	R3→R7 R3→R7	
		ボランティア団体の育成	ボランティア連協研修 ボランティア団体への助成支援	R3→R7	
	孤立防止	集いの場・居場所の開設	ふれあいサロン、地域サロン、日帰りバス旅行	高齢者の外出の機会として地域サロンを継続して実施していく。 地域の交流の場として、ふれあいサロンや日帰りバス旅行を実施する。	R3→R7
			(新) ふれあいカフェ	誰でも気軽に参加できる居場所づくりと、参画する喜びを分かち合える活動の場を創設する。 この場で、地域福祉を語る場にもして。	R3→R7
	地域の絆の醸成	子どもとの繋がり	キラキラキッチンやまだっ子	「地域の子も達」という考えのもと、地域での子育てを進めていく。	R3→R7
		見守り活動の充実	登下校時の見守り、声掛け	下校時に合わせて散歩をしたり、表に出向いて「お帰り」と声を掛けたり、黙って見守ったり、高齢者同士が井戸端会議をする等、見守り活動を進めていく。	R3→R7
	災害等弱者への支援	買物支援・通院支援	地域支え合い送迎	閉じこもり予防、介護予防、地域でのふれあいの場への参加等のため、助け合い活動の一環として移動困難者の送迎を実施する。	R3→R7
			災害時要援護者登録制度	災害弱者を把握し、災害時要援護者登録制度に登録をするための、支援者などのマッチングのための情報提供や登録支援を行う。	R3→R7
			福祉防災マップの作成	民生委員を中心として、区域の支援が必要な方の緊急時の対応に備えていく。	R3 R5 R7
			安心のバトン	救急医療情報キット(命のバトン)を作成し、一人暮らし高齢者や高齢者世帯を中心に配布する。(H24～H26にも実施)	R3 R5 R7
後継者づくり	福祉委員等の育成	福祉委員等の育成	福祉委員研修 福祉活動推進員の活性化	R3→R7	
	関連活動団体との連携	関連団体との連携	関連団体との情報共有	R3→R7	
	研修会への参加促進	研修の実施	ボランティア連協研修、人権研修	体験を中心とした研修を実施し、ボランティアグループ間の情報の共有と連携を進めていく。 「誰もが認め合うまち・人にやさしいまち」を目指して人権研修を実施していく。	R3→R7
他機関が行う研修		市社協等の研修会への参加および要請	市社協や県社協が行う研修会や講演会など情報提供と参加を呼びかけていく。	R3→R7	
住民福祉活動計画の推進	住民福祉活動計画の推進	策定・評価	学区社会福祉協議会	山田学区住民福祉活動計画の策定および啓発、または評価を行う	R5 R7
		問題解決に向けた話し合い	学区の医療福祉を考える会議	地域の生活課題の解決に向け、支え合い・助け合いの活動の創設を目指します。 (①顔の見える関係づくり、②課題の共有、③資源の把握、④地域の実態を知る、⑤活動の創設、⑥周知・啓発・学習)	R3→R7
広報・啓発	広報・啓発	広報紙の発行	社協だより	年間2回発行。全戸配布 単に活動報告ではなく、学区社協の思いを伝えるものにした。	R3→R7
		ホームページ作成	学区社協ホームページ	山田学区社会福祉協議会のホームページを利用し、PRを行う	R3→R7

※青文字は重点項目を表す

